

# 「原発と人権」全国研究・交流集会 in 福島

～人間・コミュニティの回復と原発のない社会をめざして～

福島原発事故発生から1年。未曾有の原発被害の事実を可能な限り明らかにし、過酷な被害をもたらした自然科学・社会科学的  
原因を究明し、加害者である国と東電の法的・政治的・社会的責任を問うとともに、傷つけられ奪われた被害者の人権と尊厳、破壊  
された生活と地域社会(コミュニティ)の全面的な回復・確立を実現させ、脱原発社会の創設を求める多様な活動を発展させるた  
め、被害者・市民・法律家・科学者・ジャーナリストが一堂に会して、経験と研究を交流する全国集会です。

みなさんの参加をお待ちしています。

4月7日(土)／8日(日) 参加費／1,000円

会場／福島大学(福島市金谷川1/JR東北本線・金谷川駅下車/裏面地図参照)

7日(土) 全体集会 福島大学/L号棟/4番教室

pm1:00 開場 1:30 開会 6:00 閉会

## 1. 基調講演:「福島第一原発事故の原因と責任」

海渡雄一(日弁連事務総長・岩波新書「原発訴訟」の著者)

## 2. 原発事故被害者・市民は訴える

さまざまな地域と職種の被害者からの被害実態の報告と、脱原発などの訴えです

## 3. 現地首長は訴える

地域の被害と行政の取組み、困難、国への政策要求等の報告です

## 4. 特別報告:「原爆被爆者はどのようにたたかってきたか」

田中照巳(日本原水爆被害者団体協議会(被団協)事務局長・予定)

## 5. 講演:「福島の再生を目指して」

清水修二(福島大学副学長) 原発事故の被害の質と、ここからどう再生して行くか、分科会に向けて問題提起。

4月8日(日) 分科会/全体集会/青年学生交流会 ⇒ 案内は裏面をご覧ください

主催:「原発と人権」全国研究・交流集会実行委員会(実行委員長 豊田誠 福島実行委員長 清水修二)

事務局:〒160-0004 東京都新宿区四谷1-2 伊藤ビル2F 日本国際法律家協会気付

Tel:03-3359-9255 Fax:03-5379-2608

郵便振込口座=口座記号番号00160-4-616895/加入者名=「原発と人権」全国研究交流集会実行委員会

実行委員会参加団体(2月1日現在) 自由法曹団 青年法律家協会弁護士学者合同部会 日本科学者会議 日本国際法律家協会  
日本ジャーナリスト会議 日本反核法律家協会 日本民主法律家協会 脱原発弁護団 福島原発被害弁護団 「生業を返せ、地  
域を返せ!」福島原発事故被害弁護団

「原発と人権」全国研究・交流集会 in 福島～人間・コミュニティーの回復と原発のない社会をめざして～

## 8日(日) 分科会／全体集会／青年・学生交流会

分科会 福島大学／M号棟 1～6番教室／am9:30～pm3:00

### 第1分科会 「放射能の影響とどう向き合うか」

放射能の影響については、低線量被曝の問題をはじめ、専門家の中でも様々な意見がみられる。まずはその科学的知見を共有し、それをもとに心理的影響をふまえて、どのような社会的対応が可能かを検討する。これらについての議論は、被災者の人権を回復し、賠償責任を求めるための手はじめになるであろう。

### 第2分科会 「損害論の基礎としてのコミュニティー論」

地域コミュニティーは、私たちの日常生活の最も重要な基盤ですが、原発事故はこれを根こそぎ破壊しました。「コミュニティー侵害」は、損害論や復興のための除染問題、集団移住問題などを考える上で、十分な論議が必要な問題です。被害当事者と社会学、法律学の研究者と実務家などによる、多方面からの検討が期待されます。

### 第3分科会 「被災者救済のための『完全』被害回復・『完全』賠償を」

現在、東電福島第一原発事故の被災者の方々による、東電に対する損害賠償請求について、多様な弁護団が活動している。被災者の方々の被害回復のため「完全賠償」を求め、奮闘している各弁護団の方に参加いただき、事件の現状・課題の報告、意見交換を行い、今後の取組みについて探求する。

### 第4分科会 「脱原発の司法判断を求めて」

これまで各地バラバラに取り組まれてきた原発差止裁判でしたが、3.11の原発震災を機に「脱原発弁護団全国連絡会」が結成され、全国的に連携した訴訟の展開が始まっています。当分科会では、各地の弁護団からの報告と、脱原発の司法判断獲得の意義、今後の課題について議論を深めます。

### 第5分科会 「被爆者運動に学ぶー広島・長崎から福島へー」

原爆被爆者が起こした「原爆症認定集団訴訟」。国は、国が作った「基準」以外の被爆者の被爆認定を拒否してきた。集団訴訟は、国のこの姿勢を転換させるためのたたかいであった。裁判所は原告の主張を認定し、被爆者運動は新たな地平を切り開いた。今、私たちがこのたたかいから汲み取るべきは何かを考える。

### 第6分科会 「原発報道を考える」

福島第一原発では、3.11以降何が起きたのか、なぜ、どのような対応がされてきたのか。そうした情報は、未曾有の事故の原因、責任、対策の有り様などを考えていく上での不可欠の前提ですが、多くの重要な情報が未だ明らかになっていません。何が明らかになっていないか、なぜ明らかにならないかを探ります。

## 全体集会(pm3:10～4:00)

1. 分科会の報告
2. 集会アピールの採択

## 青年学生交流会(pm3:10～5:00)

4月7日(土) 全体会 ⇒ 案内は表面をご覧ください

1. 7日終了後、土湯温泉で「懇親会」を予定しています。
2. 宿泊希望者には、土湯温泉を斡旋します。

